第 4 講 【古代編】東アジア世界の特質

PART3 秦と漢の中国統一 2

Chapter 1　新と後漢の盛衰

目標
前漢が衰退した原因は何だろう。
後漢が滅亡したきっかけを理解しよう。

1　前漢の衰退

武帝の死後，皇帝の支配力が弱まり，前漢が衰退した。

①朝廷では，皇后や皇太后の親族である〔　　　　〕と，後宮に仕える去勢された男子〔　　　　〕が権力を振るう

②地方では大土地経営を行う〔　　　　〕が台頭。官僚となって地方政治や国政に進出する者も現れる

2　新の成立

①**前漢**の滅亡

A　8 年，**外戚**の〔　　　　〕が劉氏から帝位を奪い，〔　　　　〕を建国

→これにより，劉氏の政権（前漢）が滅ぶ

B　周の時代を理想として土地国有策，商工業の統制など，時代にそぐわない政治を行い，社会が混乱→農民や豪族の不満が高まる

②新の崩壊

農民反乱〔　　　　　　　　〕（18 年～ 27 年）や豪族の反乱がおこり，わずか 15 年で滅亡

※農民らが眉を赤く染めて王莽軍の兵と識別したことから，この名がある。

3　後漢の成立と衰退

①漢王朝の再興

A　新の滅亡後，豪族反乱軍を率いた劉氏一族の**劉秀**が台頭

B　25 年，劉秀が即位し，**後漢**の初代皇帝〔　　　　　　〕になる

C　都を**洛陽**に置く

②後漢の衰退

２世紀に入ると，宦官と外戚によって政治が乱れ，地方では豪族に圧迫されて困窮する農民が増加

166 年　〔　　　　　　　　〕がおこる

宦官の政治に批判的な官僚（党人）が宦官に弾圧された事件

※ 166 年と 169 年の２度おこった。

184 年　〔　　　　　　　　〕がおこる

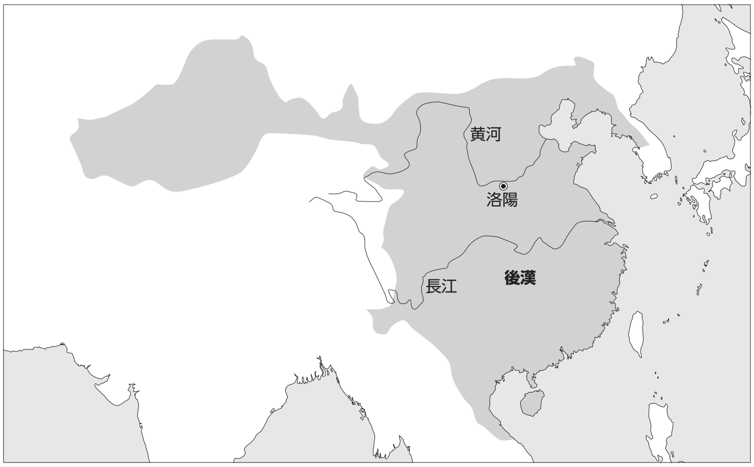
宗教結社〔　　　　　　〕の教祖**張角**が率いた大規模な農民反乱

※農民たちが目印に黄色い頭巾を着用していたことから，この名がある。

→各地の豪族が台頭する

220 年　後漢が滅亡

華北の〔　　　〕, 長江下流域の〔　　　〕, 四川盆地の〔　　　〕の３国が分立（**三国時代**）



後漢の勢力範囲

まとめ

朝廷の宦官や外戚の専横や地方豪族の台頭により前漢は衰退していった。
後漢は黄巾の乱で衰退したのち各地の豪族が台頭して滅亡した。

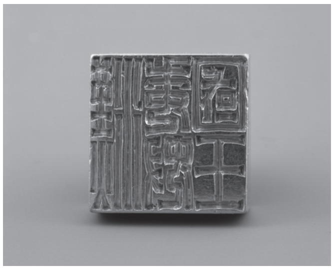
Chapter２　漢代中国の社会と文化

目標　中国の統一王朝と周辺諸国はどのような関係性だったのだろうか。
漢代の歴史書にはどのようなものがあったのだろう。

1　東西交流と東アジアの秩序

①後漢の〔　　　　　　〕が，〔　　　　〕の**奴国**の王の使者に「漢委奴国王」と記された**印綬**を授ける

※中国の皇帝が朝貢をしてきた周辺諸国の首長に王の称号を与え，代わりに首長はそのことを示す印綬を授かる〔　　　　　　　　〕のはじまり。

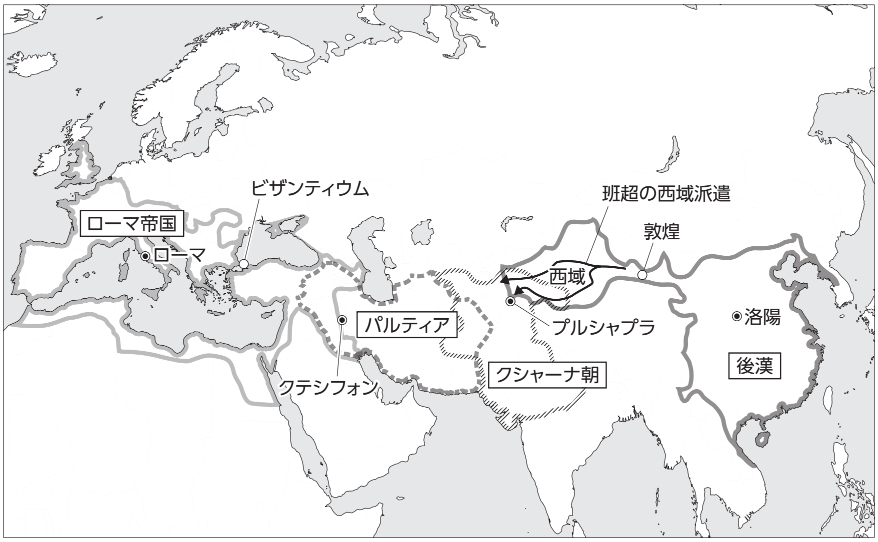


金印

②西域に派遣された前漢の**張騫**や，後漢の〔　　　　　〕らによって西域の情報がもたらされる

③２世紀半ば，**大秦王安敦**の使節が日南郡（ベトナム中部）を訪れる

※大秦王安敦はローマ皇帝**マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス**とされる。



２世紀の世界勢力図

2　漢代の社会

①〔　　　　　〕の台頭

地方の有力者は，土地を買い集めて大土地経営を行うようになる。官僚となって地方政治や国政に進出する者も現れる

②農民の没落

農民の貧富の差が拡大。重い税や飢饉などのために，土地を売って小作人となったり，奴隷になったりする者が現れる

3 漢代の文化

①儒学

A　儒学の国教化

あ　武帝の時代，**董仲舒**の献策により，儒学が官学（中国の正統的教学）になる

い　『**易経**』『**書経**』『**詩経**』『**礼記**』『**春秋**』の５つの経典（**五経**）を整備し，五経を講義する**五経博士**を設置

B　〔　　　　　　〕の発達

後漢の**鄭玄**らによって，古典の注釈，字句の解釈を行う学問が確立

②宗教の伝来

後漢時代にインドから〔　　　　〕が伝わる

③歴史書の編さん

A　〔　　　　　　〕（前漢）の〔　　　　　　　　〕

伝説時代から前漢の**武帝**の治世までを〔　　　　　　〕で記述

※後世の中国の歴史書の模範となる。

B　〔　　　　〕（後漢，班超の兄）の〔　　　　　　　　〕

前漢の**高祖**（**劉邦**）から**王莽**までの歴史を紀伝体で記述

④詩歌

戦国時代の詩歌が『**詩経**』や『**楚辞**』にまとめられる

⑤科学技術の発達

A　後漢時代，宦官の**蔡倫**がくずやぼろ布を使って〔　　　　　　〕を改良

それまでの木簡や竹簡に代わって紙が普及

※７世紀に日本にも伝わる。

B　張衡が天球儀や地震計を考案

まとめ　東西の交流が進み，中国を中心とする東アジアの秩序が生まれた。
前漢では司馬遷の『史記』，後漢では班固の『漢書』が紀伝体で書かれた。

第4講　PART3　確認問題

1 漢の武帝の死後に権力を振るうようになった皇后の親族を何と呼ぶか。

① 宦官　② 党人
③ 外戚　④ 豪族

2 漢の皇帝から帝位を奪って新朝を開いた人物はだれか。

① 劉秀　② 王莽
③ 張騫　④ 孫権

3 後漢の末期，宗教結社の太平道がおこした大規模な農民反乱を何というか。

① 赤眉の乱　② 黄巾の乱
③ 紅巾の乱　④ 黄巣の乱

4 後漢が滅亡したあと，中国に分立した国は魏と呉とどこか。

① 楚　② 晋
③ 宋　④ 蜀

5 倭の奴国の王が使者を遣わした中国の国はどこか。

① 魏　② 後漢
③ 隋　④ 唐

6 前漢の司馬遷によって紀伝体で書かれた歴史書はどれか。

① 『漢書』　② 『三国志』
③ 『後漢書』　④ 『史記』

7 後漢時代に，鄭玄らが確立した儒学の新しい学問を何というか。

① 古文辞学　② 朱子学
③ 訓詁学　④ 陽明学

8 後漢時代に蔡倫によって改良され，のちに日本へも伝わったものはどれか。

① 印刷術　② 製紙法
③ 羅針盤　④ 火薬

第 4 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：③

皇帝が幼くして即位したときは，皇后や皇太后の親族が**外戚**として政治の実権を握った。

2 解答：②

幼い皇帝の外戚として実権を握った**王莽**は，皇帝を毒殺して帝位につき，**新**を建国した。

3 解答：②

太平道の教祖の張角が，困窮した農民たちを率いておこした農民反乱で，農民たちが**黄色**の**頭巾**を着用していたので，こう呼ばれた。

4 解答：④

220 年に後漢が滅亡すると，**魏**，**呉**，**蜀**の 3 国が分立した。280 年に呉が晋（西晋）に滅ぼされるまでの 60 年間を，三国時代という。

5 解答：②

『後漢書』東夷伝に，**後漢の光武帝**が**倭の奴国**の使者に金印を授けたとの記述がある。この金印は，福岡県の志賀島で発見された漢委奴国王印とされている。

6 解答：④

紀伝体とは，本紀（王や皇帝の年代記）と列伝（個人の伝記）を合わせて記述する歴史書の形式のことで，**司馬遷**の『**史記**』にはじまる。

7 解答：③

訓詁学は，儒教の経典である経書（五経）を正しく理解するために注釈を加える学問。

8 解答：②

蔡倫によって**製紙法**が改良されると，徐々に**紙が普及**した。それにともない，楷書，行書，草書などの書体が成立した。